

質 問 回 答 書

契約番号 2025001660

契約件名 鵜沼第一小学校体育館大規模改修工事

質 問 事 項 (図面番号:A-03 番 仕様書: 頁 設計図書: 頁)

2-7章 防水改修工事

2 合成高分子系ルーフィングシート防水工法の S4S 種別は S-M2 とありますが、国土交通省大臣官房庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」令和7年度版 P61 の注意書きの1に【ALC パネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない。】と記載されております。

S-M2 は機械的固定工法なのですが、どのようにしたらよろしいでしょうか。

回 答

ALC パネルの材質は一般的なコンクリートに比べて柔らかく、固定金具の引抜強度が安定して確保できない恐れがあるため、ご指摘の「機械的固定工法は適用しない」との標準仕様書への記載となっていると考えますが、近年では、多くのメーカーが ALC 下地に対応した専用ビスを用いる機械的固定工法について実績を重ねているため、今回は機械的固定工法を選定しました。

ただし、ALC 下地専用の固定金具を用いた引抜試験の結果、十分な必要耐力が得られない場合や、メーカーより既存下地の状況のため保証ができないと判断された場合は、監督員と協議し別工法を採用することも考えられます。その際は契約金額の変更契約の対象となります。

なお、別工法としては既設防水層及び下地状況によりますが、改質アスファルトシート防水常温粘着工法 (AS-J2) などが考えられます。